

# 小施策評価シート (平成 27 年度実績評価)

施策コード	8	施策名	安全・安心な暮らしの確保	
小施策コード	8-4	小施策名	交通安全の推進	
小施策 主管課等コード	047200	小施策 主管課等名	くらしの安全課	
評価責任者名	割船 活彦		内線番号	2680
評価シート作成者名	馬場 雄一		内線番号	2681

## Step 1 小施策の全体像

### 小施策の概要等 (構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり)

現状と課題	市の交通事故発生件数は、15 年以降、減少傾向が続いていますが、高齢者が関係する交通事故が増加傾向にある。25 年は交通事故死者 6 人中 4 人を高齢者が占めており、高齢者を交通事故から守る取組が重要となる。
取組の方向性	警察や交通安全協会と連携しながら、子どもから高齢者まですべての人が交通事故から守られるよう、特に高齢者に重点を置きながら効果的な交通安全教育・啓発事業に取り組む。
対象 (誰(何)を対象として行うのか)	市民
意図 (対象をどのようにしたいのか)	市民が交通事故に遭わないようにすることで、安全で安心な社会の創出につなげる。

## Step 2 成果指標の推移

(↑ : 数値を上げていくことを目標とする指標, ↓ : 数値を下げていくことを目標とする指標, → : 数値を維持することを目標とする指標)

指標項目	単位	25 年度 実績 (現状値)	27 年度 実績	31 年度 目標値	36 年度 目標値
A 人口 1 万人当たりの交通事故発生件数 (→)	件	28.0	25.8	28.0	28.0
B ( )					
C ( )					

### Step 3 市民ニーズの把握

前回開催した盛岡市交通安全対策会議において、自転車の安全運転に関する啓発や高齢者の事故防止対策に力を入れるべきとの意見等が出ており、市として取り組んでいく必要性が生じている。

### Step 4 役割分担分析

#### 1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	市民への直接的な啓発活動のほか、近隣市町村との連携に中心的な役割を担っている。	25
	国・県・ 他自治体	市町村への情報提供や全県的な取り組みに中心的な役割を担っている。	25
	市民・ NPO	市民にとって身近な問題であることから、一人ひとりが積極的に取り組むことが求められている。	25
	企業・ その他	通勤や業務活動等にも関わる問題であることから、他の主体と同様に取り組むことが求められている。	25

#### 2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

交通事故は全ての市民が様々な場面で遭遇する可能性があることから、事故防止のためには、行政、企業、各種団体及び市民一人ひとりが主体的にかつ継続的に取り組む必要がある。

## Step 5 成果・問題点の把握と改革改善案

### 1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策の中で成果をあげた点

交通事故発生件数及び事故死亡者数は、概ね減少傾向にある。

#### (2) 成果をあげた要因

幼稚園・保育園，小・中学校等での交通安全教室の開催や各種街路啓発活動を実施してきたことによる。

#### (3) さらなる成果向上に向けて取り組むべき課題（課題がある場合に記載）

事故発生件数は、概ね減少傾向にあるが、高齢者が関係する交通事故の発生割合が高い傾向にあることから、高齢者を対象とした効果的な交通安全施策を展開していく必要がある。

### 2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策における現状の問題点

高齢者が関係する交通事故の発生割合が高い傾向にある。

#### (2) 現状の問題点が生じている原因

学校等と異なり、多数の高齢者が参加する啓発事業の実施が困難

#### (3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題

高齢者を対象とした効果的な啓発事業に関する他自治体での情報収集のほか、町内会・自治会や市老人クラブ連合会等関係団体との協働

### 3 改革改善案（上記 1 (3) 及び 2 (3) で設定した課題に対する具体の取組）

- ・ 他自治体への実施している啓発事業の照会
- ・ 各町内会・自治会・老人クラブ連合会等関係団体に対する交通安全教室実施に向けた働きかけの実施

## Step 6 小施策と構成事業の関係性

### 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業

該当事業なし。

### 2 1で記載した事業についてその理由

### 3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）